

# CCI茨城 内原中で体験学習 倉庫引渡式 皆が笑顔に



小沼県検査指導課  
課長補佐



櫻井建設未来  
協議会長



折本校長



くす玉開披で完成を祝った



完成した木造倉庫の前で記念撮影

県魅力ある建設事業推進  
連絡会議（CCI茨城）は  
18日、水戸市立内原中学校  
の建設体験学習で建築を進  
めていた木造倉庫の引き渡  
し式を行った。同校の2年  
生約90人が参加し、完成を  
盛大に祝った。

建設体験学習は、生徒た  
ちが普段利用する施設の建  
設作業を通して、中学生に  
建設業に親しみを持っても  
らうとともに、将来の職業  
選択の糧にしようことが  
狙い。本年度は10月21日  
と11月14日に、木造倉庫の  
基礎工事や木材組立工事、  
測量体験、ドローン操縦、  
重機体験を行った。

引き渡し式では主催者を  
代表し、県土木部検査指導  
課の小沼志乃武技佐兼課長  
補佐が、「建設の仕事は形  
に残るものづくりができ  
る。また、快適な暮らしを  
支え、災害から命を守って  
いる。今回の体験を通し  
て、建設の仕事に関心を

持ってもらい、将来の仕事  
の選択の時に参考にしても  
らいたい」と呼び掛けた。

県建設業協会建設未来  
協議会の櫻井俊一会長は、  
「建設の現場は、道路や住  
宅など身近な所にある。ど  
の現場もやりがいやものづ  
くりの楽しさがある。この  
ログハウスはこの先何十年  
と残るもの。これを機に建  
設業に興味を持っていただ  
き、将来働くときに建設業  
を選んでもらえたら」と話  
した。

その後、小沼課長補佐が  
折本正巳校長に目録を渡  
し、折本校長が櫻井会長に  
感謝状を贈呈した。

そして折本校長は「生徒  
たちの知的好奇心を満たす  
とともに、将来の生き方を  
考える契機となった」と  
し、「日本の伝統を生かし、  
自分たちが関わって完成し  
た立派な倉庫は『UCHI  
★LOG』（ウチログ）と  
命名した。ウチログは生徒

たちの心のふるさととして  
一生心に残り、生徒たちを  
励まし続ける宝物」と謝辞  
を述べた。

生徒代表謝辞では、池田  
美禮さんが「建設業体験を  
通して、特にチームワーク  
の大切さを実感した。お互  
いに助け合い、意見を出し  
合うことが重要と感じた。  
また、建設業はたくさん  
の人を笑顔にする素敵な仕  
事だと思ふ」と話した。

その後は、完成した木造  
倉庫の前でくす玉開披や記  
念撮影を行った。